

至つてゐるのである。

従つて自由貿易全盛時代の國際主義でなく、そこにはかなり複雑な經濟國家主義時代であることを認識せなければならぬのである。

### 三、資本主義的不況打開策は行詰る

次に既に五年に及ぶ世界經濟不況の克服策として資本主義的方法は既にいろいろ盡された。金利の低下、貨幣低下、人員の整理はその中心の政策であつた。しかしそれによつて不況が打開されたか、否益々深化擴大されたのである。それは今日、金利を低下し、貨幣を値下げし、人員を整理しても、新しい事業は起らぬのである。それ故に、かゝる政策の結果は、景氣を好轉するどころか及つて失業を増大し、購買力を萎縮せしむることに作用し、益々不況を深化させたのである。

その他世界不況克服策として歐洲大戰の賠償金や、戦價の帳消しや、金準備不足の補充など努力せられたが、大勢には何の力もない。

茲に於て資本主義の範圍内に於ける不況克服策は全く無力であることを暴露し、遂に資本主義それ自身の限界に觸れた改造策が、事實に於て企圖されるに至つたのである。

アメリカのルーズベルト大統領によるN.R.A. A.A.A.は即ちそれである。

ロシアの共産主義が資本主義を否認することは餘りにも明かである。

伊太利のファッショ政治が、必ずしも資本主義権威でなく、寧ろ資本主義に囚はれることなく、伊太利本位のギルド國家主義に向つてゐることも明かな事實だ。

資本主義の大物監英國も、自由貿易主義を棄て、徐々に資本主義を改造せざるを得ない破目に立つてゐる。

獨逸のナチスは現在のところ對外政策に成功したとしても、經濟政策は蒙である。

しかし勞動階級を彈壓し、資本主義の権威のみを以て任ずるならば、遠からずその反對の勢力の權頭となるであらう。しかし恐らくムソソリーニと同様、資本主義を揚棄して獨逸式國家主義となるのではないかと思はれる。